

ワークショップ
プログラム

垂井町の将来を考える 住民ワークショップ

第2回

平成 29 年 2 月 26 日
文化会館 小ホール
9 : 00 ~

プログラム

1. あいさつ
2. 目指すべき将来の姿を考える
3. 将来の姿を実現するための取組みを整理する
4. 発表

タイムスケジュール

□ ワークショップは、以下の手順で進めてまいります。

はじめに	
1 事務局あいさつ (5分)	□ 事務局からごあいさついたします。
2 プログラム説明(10分)	□ プログラムについてご説明いたします。
プログラム	
3 前回のワークショップのふりかえり (10分)	□ 前回意見交換した内容のふりかえり
4 垂井町は、将来どのようなまちであるべきか考えよう！ (5分)	□ テーマに沿った意見を、ポストイット (カード) に書き出します。 □ ポストイットは何枚書いてもかまいませんが、 1枚には1つの事柄しか書かない ようにしてください。
5 ポストイットに書いた意見をグループ内で発表しよう！ (30分)	□ 進行役の案内で、グループごとに意見を発表します。 □ 進行役の指示で 進めてください。 □ 1回の発言は1分以内 にまとめてください。
6 将来の姿を実現するためにすべき事柄を整理しよう！ (5分)	□ テーマに沿った意見を、ポストイット (カード) に書き出します。 □ ポストイットは何枚書いてもかまいませんが、 1枚には1つの事柄しか書かない ようにしてください。
7 ポストイットに書いた意見をグループ内で発表しよう！ (30分)	□ 進行役の案内で、グループごとに意見を発表します。 □ 進行役の指示で 進めてください。 □ 1回の発言は1分以内 にまとめてください。
8 ワークショップの結果を全員に発表しよう！ (20分)	□ 自分たちのグループの結果を、他のグループの人や出席している方がわかりやすいように発表してください。 □ 発表時間は1グループ3分です。

①ワークショップとは何？



ワークショップ（Work Shop）という言葉は、「仕事場、工作室」を意味します。Work は身体を動かすこと、Shop は自分で作ったものを公開すること、したがって、ワークショップとは、「様々な人が集まり、共同作業を通じて、何かを創り出す行為」と言えます。

本日のワークショップは、垂井町の次期総合計画に、皆様のご意見を反映させるために行うものです。

②最初に、みなさんにお願い！

□ グループでの話し合いでは、次の3つの原則を守ってください。

- 参加者に上下関係はありません
⇒ルールに従い、水平な関係で活発な意見交換をお願いします
- お互いの話に耳を傾け、多様な意見を受け入れましょう
⇒頭ごなしに相手の意見を批判することはやめましょう
- ワークショップは決められた結論に導くものではありません
⇒思いのまま、自由に意見を出してください

- 1回の発言は1分以内にまとめてください。
- 他の参加者が発言しているときには、発言しないでください。
- グループごとに進行役（ファシリテーター）がいます。進行役の指示に従って、活発に意見交換してください。

③ワークショップのステップ（予定）

第1回

平成29年1月21日（土） 9:00～ 文化会館小ホール

**垂井町のまちの課題や問題点と、
垂井町が誇る魅力的な地域資源を洗い出しましょう！**

第2回

平成29年2月26日（日） 9:00～ 文化会館小ホール

**垂井町が将来どのようなまちを目指すべきか考え
それに向けてどんな取り組みをすべきか考えましょう！**

第3回

平成29年度初旬

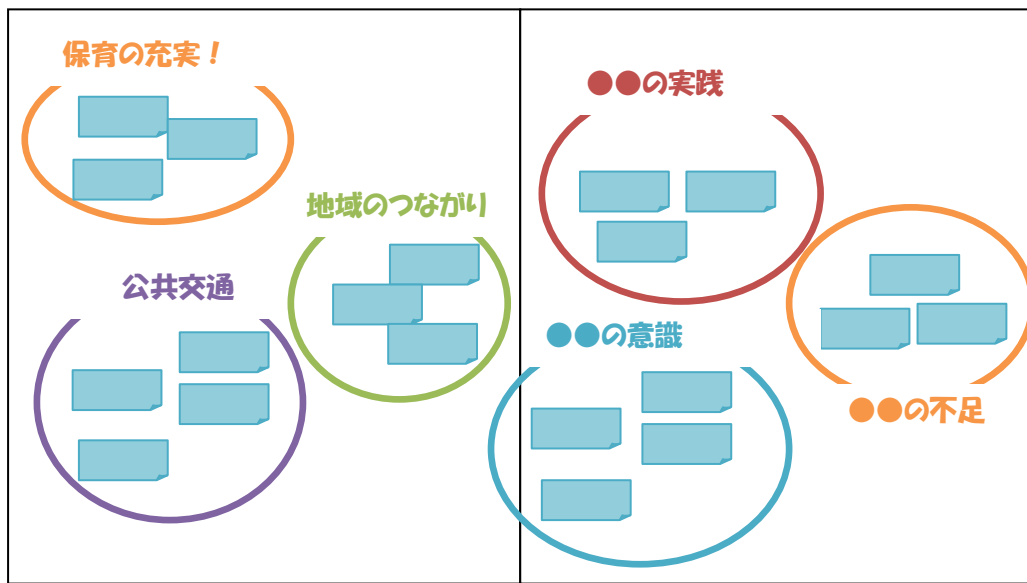
**将来のためにこれから行うべき取り組みの中で、
自分たちが実践できることを考えましょう！**

よりよい垂井町を創るためには、地域との協力が重要です！それぞれの地域に住む住民一人ひとりが、まちづくりのために何をすべきか考えましょう！



④ワークショップの進め方

- まちの現状や将来推計を共有し、垂井町が直面している課題や問題を考え
ていただき、グループごとにまとめます。
- グループごとに用意されたボードに、ご自分の考えを記入したポストイッ
トを貼りながら周りの方に発表していただき、最後に以下のイメージのよ
うにテーマごとにとりまとめてください。
- グループごとに発表者を1名決めていただき、グループでまとめたボード
の内容に従って発表していただきます。



第6次総合計画策定に関する住民ワークショップ 第1回目

日時：平成29年1月21日 9時～

場所：文化会館 小ホール

グループA

問題・課題	少子化	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団員が少ない ・子供の数が少ない ・子供の数が地域によりかたよっている ・出産時にはお祝い金など手厚い保護をする ・少子化対策が明確化されていないように思える ・若者の地域離れ（人口減少）
	家	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家増 ・空き家対策で居住人口を増やす ・独居 ・家を建てる場所がない
	木	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木の管理（道路・公園など） ・間伐材利用
	土地	<ul style="list-style-type: none"> ・使い道のない土地 ・道路の狭さ ・夜道が暗い（町はずれ）
	地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア参加者が少ない ・子供見守りボランティアが少ない ・近所との交流減少 ・地域間や各種団体のつながりに分断化の傾向が表れている ・ゴミのポイ捨て ・公民館やまちづくりセンターの利用法（若い人が集まらない）
	行動力	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致を積極的かつスピード感をもってやること ・観光資源を積極的に活用する (ポスターだけでなく、専任呼びこみ隊を作る)
	産物	<ul style="list-style-type: none"> ・駅まわりの観光スポットがない ・観光スポットが知られていない ・土産物売り場がない（南宮大社周辺等） ・隣の関ヶ原ともっとタイアップして活性化する
	町バス	<ul style="list-style-type: none"> ・町バスの利用 ・駅までの公共交通がもっと良くなったらいいな

地域・資源	南宮山	<ul style="list-style-type: none"> ・南宮大社 ・南宮山ハイキングコース
	垂井体験	<ul style="list-style-type: none"> ・グルマン ・農業体験 ・古民家暮らし
	立地の良さ活用	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便（JR、国道） ・JR垂井駅ビルの建設 複合ビル等（住居、サービス業 発展） ・インターが近い ・他県の往来 ・公園など子供が遊べる場所
	自治会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の総会などへの参加が多い ・高齢者が元気で自治会活動をしている ・見守りパトロール
	意識	<ul style="list-style-type: none"> ・どうにかしたい、してほしいという意識は皆さんある
	観光客の呼びこみ	<ul style="list-style-type: none"> ・相川の景観（桜並木・鯉のぼり） ・伝統まつり（垂井まつり、表佐たいこ） ・相川鯉のぼり ・高い建物が少ないから景色が良い
	祭り・伝統	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統をしっかりと引き継いでいっている（岩手だとしのぶえ） ・祭りの（伝統芸能）発信

グループB

課題	町づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・退職された方を町づくりに参加してもらう ・地区によって公共施設の充実に差がある（公園・図書館等）
	交通	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の交通の便 ・公共交通機関
	現庁舎活用	<ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎の活用方法は？ ・役所移転に伴う活用（観光物店舗にしたら）
	お金	<ul style="list-style-type: none"> ・何か行動するのにお金が必要になる （現状は金がないからできない） ・ふるさと納税の活用（お金を集める）
	空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴う空き家の活用（リフォーム等） ・空き家が多くなっている（身内は遠くに居住している） ・魅力ある町づくり（シャッター面）
	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・独居対策を地区内、町内でしてほしい ・安心して年を重ねられる町づくり ・保険証（1人1枚）
	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園までが遠い ・小学校での行事の際、駐車場が少ない ・小・中学生の学校英語教育 ・中学校までの給食費の無料化（人口を増やす） ・子供の通学路に危険な所もある
	要望	<ul style="list-style-type: none"> ・五次総の評価を公表してほしい ・各地区毎にといわれ、オール垂井という意識が低い ・フォローアップ計画について観光案内所訪問者数、公園緑地の満足度目標値を決めたい ・評価委員会のスケジュール 平成28年11月30日の委員会 平成29年3月下旬には国へ評価シートを提出 事後評価シートを1年間公表する フォローアップ結果の公表 平成29年6月下旬

【住民が楽しいと思える街づくり】

地域資源	祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・表佐のたいこのアピール (ポスターだけでなく、いつも展示したら) ・駅に垂井の紹介(祭り等)の大きな看板を立てたらどうか ・垂井ピア祭り、各地区の祭り ・お祭りを他地域に広げる ・松阪おどりの復活 ・中山道まつりのフォロー 商工会や垂井町ひきやま祭り まちづくり協議会・地区連合自治会の協力
	みどころ	<ul style="list-style-type: none"> ・相川の鯉のぼり 350匹 ・相川桜周辺(食事、coffeeがあれば良い)自然環境が大変良い ・南宮大社とその周辺(ハイキング・サイクリング・歴史表示) ・大滝と養老の滝とのタイアップ <トイレがあるとOK!>
	観光	<ul style="list-style-type: none"> ・観光大使をつくる(知名度UP) ・中学生、高校生の観光ガイドボランティア ・菩提山城の看板の設置(大きいものを) ・歴史資料の活用(各地区町道に個人及び地区の名前をつける) <道路に街道名をつけよう>

グループC

課題	福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方で困っています 75歳の方 お嫁さんに自分の持ち物を全部隠したと言って家の鍵を全部かけて家に入れなくなった ・高齢者福祉については関係する機関の間での連携が不十分である
	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・郡の陸上記録会（全員参加のもの）が無くなるなど、行事が減ってしまった。 ・学校と地域との交流（土曜授業）はあるがなかなか話がととのわない。連絡・連携が取りにくい。 ・道路の整備（子供達のための通学用歩道） ・「子育て支援」と言うが、子供を連れて行ける身近な公園が少ない ・高校生や大学生になると垂井では遊ばない。地域とも関わることがない
	街中がさみしい	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなスーパーが出来た為か町がさみしくなった様に思います ・空き家が増えている
	他地区との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のふれあい（お年寄り、子供） ・他地区との交流が少ない ・7地区の特色のみが表れていて町全体としての一体感が不足している
	関係機関への連携	<ul style="list-style-type: none"> ・JRと関連したバス運行 ・第5次総合計画により発足した「まちづくり協議会」が十分に機能していない
	PR不足	<ul style="list-style-type: none"> ・垂井はロケーションがいいところがたくさんあるのに、アピールができていないように感じる ・相川堤防からの伊吹山

地域資源	人	<ul style="list-style-type: none"> ・表佐の子ども教室 ・各地区にまちづくり協議会があること
	人口増加	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増加対策 住民 ・人口減少に町内の地区別にかたまりがある
	まつり	<ul style="list-style-type: none"> ・表佐太鼓踊り ・南宮神社のみこし ・大石 花火
	歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史 竹中半兵衛 ・南宮神社の高山さんのハイキングの件 ・親谷古墳をはじめとする古墳群（歴史、文化財） ・宮代藤村の文化財 ・美濃国府跡地（歴史、文化財）
	自然	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの里、モリアオガエルの里（自然環境） ・歩く 菩提山 ・表佐ハリヨの池のホテル ・湯つぼのきれいな水 ・不破の大滝（自然・環境） ・明神湖からの濃尾平野の眺め
	これも大事	<ul style="list-style-type: none"> ・相川河川敷の整備 ・朝倉運動場の活用

グループD

課題	人口問題	<ul style="list-style-type: none"> ・労働力の不足・企業の進出があまりない ・町中央の過疎化、高齢化 ・人口の減少、自治会差が出る ・人口問題に対する意識（少子高齢化） ・人口に対して地域の役が多い
	子供の遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ・共働き世代の子供のフォロー（定時まで働ける） ・子供の遊び場の減少（禁止が増えている）山州池 ・子供達が安心して遊べる場所 ・各地区避難所及び子供の遊び場になるような集会所の整備
	交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ・駅までの足（高校生・通勤） ・高齢者の交通手段（買い物・病院） ・高齢者（90歳以上）のサポート（外で見かけない方が増えている）
	環境関係	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に対する考え方がない？（環境教育の充実） ・不法投棄 ・エコドーム、クリーンセンター ・農作物への獣害（アライグマ、ハクビシン、ヌートリア） ・相川、どろ川等町の河川
	山林の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の木育 ・農業林業体験（場所はある） ・山林の廃墟 ・山林の整備（観光も考えたい） ・山林に遊びと仕事のスペースをつくる
	空き家対策	<ul style="list-style-type: none"> ・空地や空き家の有効利用 ・空き家の増加 対策の遅れ ・空き家対策 くずれそう
	防犯・災害	<ul style="list-style-type: none"> ・公道（町・県・国）の整備（道路状況の整備） ・災害対策 相川の竹やぶが堤防まで広がっている ・避難所の不足 ・街灯が少なくなった ・新しくできる道路に街灯がない ・子供の安全（駅までの通学）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人の流れ ①住民 ②労働者 ③観光者 ・町全体の閉塞感

	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の移転に合わせた計画 ・行政サポート情報の周知不足・まち協の連携がとれていない ・趣味や教養を高める場を増やす
--	--

地域資源	観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ・垂井町の知名度がうすい ・観光に来られた方の買い物、食事の場 ・観光客の受け入れ（トイレ・食事・案内） ・観光の場所等あるが、生かされていない ・特産品を生み出す ・観光資源の見直し ・映画等のロケ地へのPR（神社、山、相川など） ・地域ごとの祭りを垂井の祭りとしてPRする ・林道、池田、明神線（自転車） ・東海自然歩道（ハイキング） ・一里塚 ・半兵衛の里 ・国府の里 府中地区内にある ・南宮大社等の神社・仏閣 ・神社・寺の連携 ・宿泊施設の誘致 ・連理のサカキ（県天然記念物） ・不破の滝 道路が悪い（整備） ・滝の整備 道 P 宿泊 ・大石花火 ・伊吹神楽 ・細雪 ホタル狩り等もっと外へPRする ・竹中氏 城跡（景色） やぐら門 ・道の駅など特産品の販売ができる場所を 大人数の食事の場所を ・栗原おどり
------	------	---

グループE

課題	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所まで遠い ・防災の制度の継続性が薄い
	独居老人	<ul style="list-style-type: none"> ・1人暮らしのお年寄りの家が多くなった ・独居老人、空き家が増加している ・独居老人の見守り
	道路が暗くて狭い	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の舗装（町道外） ・道路が狭い ・街灯がないから夜が危ない ・夜の明るさ、暗い ・夜道が暗い ・夜、照明のない所があるので危険
	防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯対策 (家の周りの小物が無くなる、農作物の被害)
	空き家が増えてきた	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の若い世帯が少ない ・空き家が多くなった ・空き家の管理 ・住居に偏重がある（まばらに家が建ち、バランスが悪い）
	地域で遊べない	<ul style="list-style-type: none"> ・神社、寺の敷地はあるが、公園が少ない ・公園（遊具施設）が少ない ・使えない遊具がある ・外で子供が遊ばない ・河川敷の東地区側の遊び場
	PRが弱い	<ul style="list-style-type: none"> ・垂井に観光に来ても宿泊するところがない ・関ヶ原と比較して知名度が低い ・町としての特異性に乏しい ・伝統芸能（太鼓）の後継者不足
	子育てしたいけど	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が三人いてもあまり支援がない ・学校の先生の子供に対する指導の方法
	働きたいけど	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場所、会社が少ない ・産業の優位がない
	足がない	<ul style="list-style-type: none"> ・町内のバスがあるが、利用者が少ない、ムダ ・夜、駅からの足に困る（タクシーがない、少ない）

地域資源	歴史資源	<ul style="list-style-type: none"> ・竹中半兵衛公（軍師） ・南宮大社 ・菩提山 ・大滝に滝がある ・平塚為広 ・観光資源（干句の里 など） ・国府跡がある ・太鼓踊り ・九十九坊 ・垂井町内によさこいチームが3チームあり、イベントなどでも盛り上げている
	こいのぼり	<ul style="list-style-type: none"> ・こいのぼり ・河川敷の整備
	グルメ	<ul style="list-style-type: none"> ・グルマン（パン屋） ・お店が増えてグルマンが人気 ・つちや（和菓子）
	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・垂井ピアセンター〈場所〉 ・見守りパトロール隊〈人〉

グループF

課題・問題点	町政	<ul style="list-style-type: none"> ・役場との意思疎通 ・垂井町の方針が明確に伝わってこない ・税金の使い道 ・町職員に覇気がない ・ふるさと納税への対応が貧困 ・町民に改革意識が薄い
	町民の心	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア精神の薄さ ・歴史的価値のある物の大切さの心
	防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識の低さ ・災害時の対応（垂井町全体） ・夜間のパトロール
	まち協	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会はその目的をはたしているのか ・公民館をなくすことは理解しがたい
	少子高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化 ・少子化 ・若い人が垂井町から出て行く ・子供を増やす施策がお題目だけ（真剣味がない） ・子供達と地域の方達のふれあい
	交通	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の不便 ・道路の整備（特に通学路など） ・障害者の方への配慮（垂井駅）
	町の中心	<ul style="list-style-type: none"> ・町の中心地がないと思う ・垂井町のまとまりが低下、不明（？）
	産業（商業・観光）	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の発展 ・高齢者が地元で買い物をする場所がない ・宿泊施設がない ・農業従事者が高齢者ばかり ・農業は米作（稲作）中心 野菜作りを進める指導がない ・工場誘致を行っているが、今更製造業でもないのでは敷地も狭い ・林業は壊滅状況なのに補助金が多い

地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・竹中半兵衛関連の史跡等
	<ul style="list-style-type: none"> ・外に誇れる歴史財産がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・垂井の祭り（山車、たいこ） ・垂井の曳山 ・表佐太鼓 ・谷崎潤一郎の「細雪」の舞台（表佐）
	<ul style="list-style-type: none"> ・南宮大社 ・曳山 ・美濃国府 ・南宮山
	<ul style="list-style-type: none"> ・朝倉温泉を使って（商品化） ・朝倉公園グラウンド（スポーツ活性） ・多くの工場（製造業の出荷路）
	<ul style="list-style-type: none"> ・青年つどい協の冬のイルミネーション ・車で旅行等便利なところ（東西南北どこへ行くにも） ・J R東海道、国道21号が両方そろっている ・垂井の地理的な二面性 濃尾平野の北西の場、京都の外（京都文化の外）
	<ul style="list-style-type: none"> ・里山になりえる自然 ・岩手川のホタル ・相川を町の中心にする ・相川のこいのぼり（観光客の思い出的なもの）

グループG

問題課題	交通・生活	<ul style="list-style-type: none"> 放射線災害の対策計画はどうなっているのか 道路の、車道と歩道の分離帯の横があまりにもひどい（ゴミ、草、など） 交通機関が少ない 除雪が不十分 養老—垂井線の改修 垂井町の幹線道路で片側二車線の道路が無い 国道 21 号線の四車線化の実施 人・物流にも重要 国道 21 号の拡大 道路の補修具合が他市町村より遅れている 夜道の明かり 安全 夜が暗い 公園が少ない 体育館の管理が悪い
	保険・医療	<ul style="list-style-type: none"> ドックの多面化（医療費がかさむ） 全般のゴミに対する減少を考える 現状を町民全員に伝え、いかにゴミの減少を図るのか考える 高齢者の保健施設の拡充 高齢者に対する対応 医療費、介護等に対する 町役場考え方（将来）
	食	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店が少ない 町内のお店の減少
	自然	<ul style="list-style-type: none"> 自然とふれあうことが少なくなった 特に特に子供たちの体力、仲間意識が弱い
	役所	<ul style="list-style-type: none"> 町職員の能力が不足している（たらいまわしなど） 町職員の働き具合が見えない（町民へのおしつけが多い） 第 4 次、第 5 次総合計画の達成度の公表はどうなっているのか。 役場の駐車場がせまい ボランティアに頼るのが多すぎる
	人口	<ul style="list-style-type: none"> 子供の遊び場の確保 若者の流出防止
	生活	<ul style="list-style-type: none"> 人口、世帯の減少 地域差が拡大している 高齢者の増加 高齢者の地域活動へのボランティア活動が少ない

	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの希薄化 連帯意識が薄く、個人主体の行動がみられる ・高齢者への交通手段が悪い 巡回バスルートの考え・方法が足の確保につながらない ・空き家が増え続けている 若者の流出による高齢世帯、一人家庭世帯の増加
--	---

地域資源	伝統	<ul style="list-style-type: none"> ・中山道宿場町 小林宅 長浜屋 ・東西への交通要所である ・歴史文化がすぐれている 国府、他すぐれたものを生かす 伝統芸能も多い ・垂井祭 垂井の曳山 ・垂井出身の偉人の生かせる町 ・伝統芸能の継承 ・地域運動会、文化祭がある
	観光	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の計画（特産物のPR） ・養老の滝と関ヶ原の中間に位置する ・ホテル・旅館を増やし垂井町の名物 観光客を増やす ・養老のスマートインターへのアクセスが良い（今は未だ） ・観光マップ作りを行う ・他の市町村から見た場合、垂井町は色々なサービスが遅れている。 ・観光は大垣、関ヶ原とタイアップして全国に発信してほしい。
	自然	<ul style="list-style-type: none"> ・相川流域の整備（下流部の堤防部分の整備） ・山（里山）が近い ・自然豊かである 健康の為に散策道等を生かせればすぐれた地域になる ・人口の割にスーパーが多い（車なら大垣市、養老町もすぐ） ・静か ・岩手川 ホタル ・自然動物 ・相川の桜
	人口	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちがすれていない ・地元好き ・高齢者が元気

	その他	<ul style="list-style-type: none">・マラソンコースの拡充（参加者の全国的募集）・カルガリーからの研修生の受け入れ
--	-----	--